

<第6章 調査票〔単純集計結果〕>

第6章 調査票 [単純集計結果]

令和2年度 高知県 県民世論調査 調査票

最初に、あなたご自身のことについてお尋ねします。

以下のQ. 1からQ. 10までは、本調査でいただいた回答が性別によってどう違うか、年代別にはどういう違いが見られるか、などといった分析をするうえで必要な質問です。ご協力をお願いします。

Q. 1 性別（1つだけ○印）

（回答者数 1,734 人）

	項目	回答数	回答比率
1	男性	862	49.7%
2	女性	868	50.1%
3	その他	2	0.1%
	無回答	2	0.1%

Q. 2 年代（1つだけ○印）

（回答者数 1,734 人）

	項目	回答数	回答比率
1	10歳代	8	0.5%
2	20歳代	80	4.6%
3	30歳代	151	8.7%
4	40歳代	241	13.9%
5	50歳代	302	17.4%
6	60歳代	404	23.3%
7	70歳以上	541	31.2%
	無回答	7	0.4%

Q. 3 職業（1つだけ○印）

（回答者数 1,734 人）

	項目	回答数	回答比率
1	農林業	87	5.0%
2	漁業	10	0.6%
3	商工サービス業自営	129	7.4%
4	事務職	169	9.7%
5	技術職	188	10.8%
6	労務職	198	11.4%
7	管理職	68	3.9%
8	自由業	33	1.9%
9	主婦・主夫	194	11.2%
10	学生	32	1.8%
11	無職	445	25.7%
12	その他	166	9.6%
	無回答	15	0.9%

Q.4 あなたの属性（1つだけ○印）

（回答者数 1,734 人）

	項目	回答数	回答比率
1	世帯主	978	56.4%
2	世帯主ではない(世帯員)	747	43.1%
	無回答	9	0.5%

Q.5 婚姻状況（1つだけ○印）

（回答者数 1,734 人）

	項目	回答数	回答比率
1	未婚	305	17.6%
2	既婚	1,146	66.1%
3	その他	270	15.6%
	無回答	13	0.7%

Q.6 子どもの状況（同居・別居に関わらずお答えください。）

（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数 1,734 人）

	項目	回答数	回答比率
1	就学前の子どもがいる	118	6.8%
2	小・中学生の子どもがいる	183	10.6%
3	高校生の子がいる	90	5.2%
4	大学生、専門学校生等の子どもがいる	96	5.5%
5	子どもは成人している又は独立している	994	57.3%
6	子どもはいない	407	23.5%
	無回答	38	2.2%

Q.7 世帯の年間収入（税込み）（1つだけ○印）

（回答者数 1,734 人）

	項目	回答数	回答比率
1	0～100万円未満	164	9.5%
2	100～200万円未満	283	16.3%
3	200～300万円未満	375	21.6%
4	300～400万円未満	238	13.7%
5	400～600万円未満	283	16.3%
6	600～800万円未満	138	8.0%
7	800～1,000万円未満	90	5.2%
8	1,000万円以上	89	5.1%
	無回答	74	4.3%

Q.8 お住まいの状況（1つだけ○印）

（回答者数 1,734 人）

	項目	回答数	回答比率
1	持家	1,405	81.0%
2	借家	305	17.6%
	無回答	24	1.4%

Q.9 お住まいの場所（広域市町村圏）（1つだけ○印）

（回答者数 1,734 人）

	項目	回答数	回答比率
1	高知市	778	44.9%
2	安芸広域圏	109	6.3%
3	南国・香美広域圏	286	16.5%
4	嶺北広域圏	36	2.1%
5	仁淀川広域圏	121	7.0%
6	高吾北広域圏	56	3.2%
7	高幡広域圏	145	8.4%
8	幡多広域圏	186	10.7%
	無回答	17	1.0%

Q.10 お住まいの地域（沿岸部・非沿岸部）（1つだけ○印）

（回答者数 1,734 人）

	項目	回答数	回答比率
1	沿岸部	558	32.2%
2	非沿岸部	1,151	66.4%
	無回答	25	1.4%

※ お住まいの地域が沿岸部かどうかの判断に迷う場合は、海（海岸、岸壁、港、湾、河口付近）から直線距離で約5km（または車で約10分）を目安にしてください。

1. 新型コロナウイルス感染症対策について

本県では、引き続き、新型コロナウイルスの感染防止対策に努めるとともに、「新しい生活様式」への対応など、感染拡大後の社会構造の変化も見据えた各政策のさらなる強化に取り組んでまいります。

問1 県では、4月3日以降、県民の皆さまや事業者の方々に対して、不要不急の外出の自粛や休業等の要請を行いました。これらの県が行った要請について、どのような媒体で情報を入手しましたか。（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数 1,734人）

	項目	回答数	回答比率
1	テレビ	1,650	95.2%
2	ラジオ	267	15.4%
3	新聞	1,039	59.9%
4	国・県・市町村のホームページ	226	13.0%
5	県・市町村の広報紙	394	22.7%
6	店舗等での張り紙	91	5.2%
7	SNS	233	13.4%
8	口コミ	265	15.3%
9	その他	75	4.3%
10	要請を知らなかった	7	0.4%
	無回答	12	0.7%

問2 県が行った要請に応じて外出等を控えましたか。（1つだけ○印）

（回答者数 1,734人）

	項目	回答数	回答比率
1	外出等を控えた	1,291	74.5%
2	外出等をやや控えた	396	22.8%
3	外出等を控えなかった	30	1.7%
	無回答	17	1.0%

問3 感染拡大を予防するための「新しい生活様式」について、実践している取り組みは何ですか。（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数 1,734人）

	項目	回答数	回答比率
1	マスクを着用している	1,654	95.4%
2	まめに手洗いや手指消毒をしている	1,493	86.1%
3	人との間隔をできるだけ空けている	1,162	67.0%
4	「3密」(密集、密接、密閉)の場を避けている	1,400	80.7%
5	外食や買い物はできるだけ控えている	1,101	63.5%
6	感染が流行している地域への移動を控えている	1,273	73.4%
7	仕事はテレワーク(在宅勤務)にしている	24	1.4%
8	特にやっていることはない	11	0.6%
	無回答	11	0.6%

問4 新型コロナウイルス感染症やその影響について、不安に感じていることは何ですか。(3つまで○印)

(回答者数 1,734人)

	項目	回答数	回答比率
1	自分や家族、知人の感染	1,532	88.4%
2	マスクや消毒液などの物資の確保	369	21.3%
3	事業者による感染防止対策の実施	164	9.5%
4	医療の提供体制	661	38.1%
5	外出や移動の制約	393	22.7%
6	外出や移動の自粛によるストレス・体調不良	253	14.6%
7	休校等による子どもへの対応	106	6.1%
8	子どもの学業の遅れ	107	6.2%
9	景気悪化による収入の減少	392	22.6%
10	勤務先の人員削減や雇用の凍結、就職難	94	5.4%
11	県経済の衰退	347	20.0%
12	その他	30	1.7%
13	特に不安はない	36	2.1%
	無回答	23	1.3%

【新しい生活様式を実践しましょう】

- ・ 感染防止の3つの基本 (①距離の確保、②マスクの着用、③手洗い・手指消毒)
- ・ 3密 (密集・密接・密閉) の回避
- ・ 感染が流行している地域への移動は控える
- ・ 食事時の注意点 (大皿は避けて料理は個々に、「献杯・返杯」は避ける)
- ・ 働き方の新しいスタイル (テレワークやローテーション勤務、時差通勤など)



【県民の皆さまへのお願い】

- ・ 感染された方や医療関係者とその家族等に対する人権侵害につながる誹謗、中傷、差別は絶対にしないでください。
- ・ 公式発表に基づかない不確かな情報を SNS 等で拡散することは、感染拡大を防ぐ活動の妨げになりますので厳に謹んでください。また、こうした情報に惑わされないようご注意ください。

新型コロナウイルス感染症に関する情報 (Information about new Coronavirus)

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/111301/info-COVID-19.html>



2. 県の基本政策について

高知県では、現在、県勢の浮揚を図り、将来に希望の持てる県づくりに向けて、5つの基本政策に基づいた取り組みを進めるとともに、それらの政策に横断的にかかわる3つの政策に取り組んでいます。

【5つの基本政策】

①経済の活性化

(産業振興計画による地産地消・外商の推進、移住促進、担い手の育成・確保、起業・新事業展開の促進、高知版 Society5.0 の実現など)

②日本一の健康長寿県づくり

(健康寿命の延伸に向けた意識醸成と行動変容の促進、地域で支え合う医療・介護・福祉サービス提供体制の確立とネットワークの強化、子どもたちを守り育てる環境づくり)

③教育の充実と子育て支援

(「チーム学校」の推進による知・徳・体のさらなる向上、地域との連携・協働など)

④南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化

(地震発生直後の命を守る対策、助かった命をつなぐための応急期の対策、早期の復旧・復興に向けた生活を立ち上げる対策など)

⑤インフラの充実と有効活用

(県民の安全・安心につながる道路、河川、港湾などの整備、公共交通機関の維持確保など)

【5つの基本政策に横断的にかかわる3つの政策】

⑥中山間対策の充実・強化

(集落活動センターの普及・拡大、生活用品・移動手段の確保、鳥獣被害対策など)

⑦少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大

(出会い・結婚、妊娠・出産、子育てなどのライフステージの各段階に応じた切れ目のない対策、就職や起業に向けた支援など)

⑧文化芸術とスポーツの振興

(文化芸術を鑑賞できる機会の充実・発表する機会の拡充、文化芸術活動を支える人材の育成、高知固有の文化の継承や活用、スポーツ参加の拡大、競技力の向上、スポーツを通じた活力ある県づくりなど)

県の進めている8つの基本的な政策について、以下それぞれお伺いします。

問5 「経済の活性化」について、第4期高知県産業振興計画に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（3つまで○印）

（回答者数 1,734人）

	項目	回答数	回答比率
1	農林漁業の生産地の強化	673	38.8%
2	加工食品や機械などのものづくり産業の振興	265	15.3%
3	観光の振興	488	28.1%
4	県産品等の県外・海外での販売促進支援	320	18.5%
5	産業の担い手の育成・確保	738	42.6%
6	県外からの移住の促進	250	14.4%
7	IoTやAIなど最先端のデジタル技術を活用した地場産業の高度化	150	8.7%
8	防災関連産業、IT・コンテンツ関連産業など新たな産業の創出	151	8.7%
9	起業や新たな事業展開を志す方への支援	187	10.8%
10	県内事業者の経営基盤の強化（事業戦略の策定・実行への支援、金融支援）	361	20.8%
11	SDGs（持続可能な開発目標）を意識した事業活動の促進	81	4.7%
12	関西圏との経済連携の強化	86	5.0%
13	企業の誘致	393	22.7%
14	地域の商店街等の活性化	470	27.1%
15	その他	26	1.5%
	無回答	54	3.1%

問6 「日本一の健康長寿県づくり」について、第4期日本一の健康長寿県構想に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（3つまで○印）

（回答者数 1,734人）

	項目	回答数	回答比率
1	がん対策や脳血管疾患・心臓病・糖尿病などの血管病対策の推進	528	30.4%
2	生涯にわたる健康的な生活習慣の定着	636	36.7%
3	医師等の地域偏在の是正	435	25.1%
4	在宅医療・介護の推進	498	28.7%
5	救急医療体制の強化	357	20.6%
6	高齢者がいつまでも元気に暮らせる地域づくり※	694	40.0%
7	障害のある方の自立を促し、安心して生活のできる地域づくり	206	11.9%
8	妊娠期から子育て期までの切れ目のない総合的な支援	386	22.3%
9	厳しい環境にある子どもたちへの支援	360	20.8%
10	介護などのサービス提供を担う人材の安定確保	662	38.2%
11	その他	17	1.0%
	無回答	29	1.7%

※ 介護予防や生活支援サービスの充実・強化など、高齢者がいつまでも元気に安心して日々を暮らせる対策。

問7 「教育の充実と子育て支援」について、第2期教育等の振興に関する施策の大綱に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（3つまで○印）

（回答者数 1,734人）

	項目	回答数	回答比率
1	学力向上に向けた学校の組織力の強化 ^{※1}	733	42.3%
2	道徳教育の推進	557	32.1%
3	運動能力の向上、運動習慣の確立	288	16.6%
4	社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の推進	434	25.0%
5	発達障害など特別な支援を必要とする子どもへの指導・支援の充実	300	17.3%
6	貧困の世代間連鎖を教育によって断ち切るための支援の充実 ^{※2}	464	26.8%
7	いじめや暴力行為、不登校などへの対策の充実	719	41.5%
8	パソコンやタブレット等を活用した教育の推進	364	21.0%
9	地域の方々との連携・協働による学習やスポーツ活動などの推進	292	16.8%
10	就学前の教育・保育の充実	197	11.4%
11	生涯にわたって学び続けられる環境づくりの推進	345	19.9%
12	その他	38	2.2%
	無回答	40	2.3%

※1 教員同士がチームを組んで主体的に学び合うことにより組織的に授業力の向上などを図る。

※2 家庭の経済状況と子どもの学力には相関関係があり、貧困の世代間連鎖が危惧される状況であることから、保護者の子育て力の向上や放課後等における学習の場の充実などを図る。

問8 「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」について、第4期南海トラフ地震対策行動計画に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。

（3つまで○印）

（回答者数 1,734人）

	項目	回答数	回答比率
1	住宅の耐震化の強化	410	23.6%
2	津波からの避難場所や避難路の整備	640	36.9%
3	体育館などの避難所の確保や運営体制の充実	458	26.4%
4	支援物資が避難所に確実に届く体制づくり	749	43.2%
5	人命救助や医療、ボランティアなど県外からの支援を円滑に受け入れる態勢の強化	442	25.5%
6	前方展開型による医療救護体制の推進 ^{※1}	270	15.6%
7	防災教育の強化	204	11.8%
8	高齢者や障害者などの要配慮者の方々を地域で支え合う仕組みづくり	421	24.3%
9	地震火災・津波火災対策の推進	148	8.5%
10	津波や浸水による被害を防ぐ防潮堤などのハード整備	283	16.3%
11	南海トラフ地震臨時情報 ^{※2} が発表された場合に備えた対策の推進	217	12.5%
12	自主防災組織など人のつながりの強化	299	17.2%
13	発災後の応急対策活動や住民生活に必要な燃料の確保対策	243	14.0%
14	その他	20	1.2%
	無回答	36	2.1%

※1 負傷者を病院に搬送できないことが想定されるため、より負傷者に近い場所で医療救護活動が行える体制づくりを強化していくこと。

※2 南海トラフ地震臨時情報：南海トラフ沿いで異常な現象（東海地震の発生など）が観測され、大規模地震発生の可能性が平常時より相対的に高まったと評価された場合に、気象庁から発表される情報。

問9 「インフラの充実と有効活用」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

(回答者数 1,734人)

	項目	回答数	回答比率
1	他の地域とのつながりを強化する高速道路等の整備	380	21.9%
2	日常生活を支える国道や県道等の整備	680	39.2%
3	台風・豪雨に備えた河川の浚渫、堤防の整備や土砂災害対策の推進	706	40.7%
4	南海トラフ地震の津波に備えた海岸及び河川堤防等の整備	467	26.9%
5	既存インフラの維持管理や老朽化対策	458	26.4%
6	公共交通機関の維持確保	311	17.9%
7	高速道路や空港、港湾等を活用した物流対策	180	10.4%
8	その他	13	0.7%
	無回答	75	4.3%

問10 「中山間対策の充実・強化」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

(回答者数 1,734人)

	項目	回答数	回答比率
1	食料品や日用品などの確保	379	21.9%
2	地域での医療・介護の確保	767	44.2%
3	買い物や通院のための移動手段の確保	722	41.6%
4	地域で収入を得ることができる産業づくり	515	29.7%
5	集落の維持・再生に向けた地域の支え合いの仕組みづくり	267	15.4%
6	移住促進等による地域活動などの担い手の確保	187	10.8%
7	地域での教育の拠点となる高等学校の確保	29	1.7%
8	鳥獣被害への対策	146	8.4%
9	スマートフォンやパソコン等で高速通信が可能となる情報基盤の整備	179	10.3%
10	その他	18	1.0%
	無回答	75	4.3%

問11 「少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

(回答者数 1,734人)

	項目	回答数	回答比率
1	地域や職場など社会全体で結婚や子育てを応援する機運の醸成	415	23.9%
2	出会いや結婚への支援を希望する独身者への出会いの機会の創出	331	19.1%
3	安心して妊娠・出産できる環境の整備	501	28.9%
4	子育てや教育にかかる経済的な負担の軽減	724	41.8%
5	子どもの預け先の確保など子育て支援サービスの充実	372	21.5%
6	家事・育児の分担など家庭における男女共同参画の推進	90	5.2%
7	いったん子育て等に専念しても、希望すれば再就職できるための支援	277	16.0%
8	仕事と育児・介護などの家庭生活の両立に理解がある職場づくり	462	26.6%
9	その他	22	1.3%
	無回答	80	4.6%

「文化芸術とスポーツの振興」について、以下それぞれお伺いします。

問 12 文化芸術の振興について、特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

(回答者数 1,734 人)

	項目	回答数	回答比率
1	ホール・劇場、美術館、博物館等の文化施設の充実	595	34.3%
2	文化芸術を鑑賞・体験できる機会の充実	780	45.0%
3	文化芸術活動を発表する機会の拡充	182	10.5%
4	高知固有の文化の継承や活用	584	33.7%
5	文化芸術活動を支える人材の育成	474	27.3%
6	文化芸術に関するイベント等の情報発信	330	19.0%
7	その他	25	1.4%
	無回答	104	6.0%

問 13 スポーツの振興について、特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

(回答者数 1,734 人)

	項目	回答数	回答比率
1	誰もが地域でスポーツに参加できるための環境づくり	1,014	58.5%
2	選手や指導者の育成による競技力の向上	550	31.7%
3	スポーツを通じた交流人口の拡大	448	25.8%
4	スポーツ施設・設備の充実	809	46.7%
5	その他	34	2.0%
	無回答	115	6.6%

改めて、5つの基本政策と3つの横断的にかかわる政策についてお伺いします。

問 14 県が行っている8つの政策のうち、より一層力を入れて取り組むべきだと考えるものは何ですか。(2つまで○印)

(回答者数 1,734 人)

	項目	回答数	回答比率
1	経済の活性化	1,010	58.2%
2	日本一の健康長寿県づくり	148	8.5%
3	教育の充実と子育て支援	515	29.7%
4	南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化	633	36.5%
5	インフラの充実と有効活用	193	11.1%
6	中山間対策の充実・強化	264	15.2%
7	少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大	384	22.1%
8	文化芸術とスポーツの振興	49	2.8%
	無回答	69	4.0%

問 15 8つの政策以外に力を入れて取り組むべきだと考えられるものがあればご自由にお書きください。(自由記入)

[]

3. 南海トラフ地震対策について

高知県では「南海トラフ地震対策行動計画」を策定し、ハード・ソフトの両面から様々な対策を進めています。被害を軽減するためには、県民の皆様一人ひとりの備えとしての「自助」の取り組みや、地域で支え合う「共助」の取り組みが重要です。県民の皆様のご協力のもと、「自助」、「共助」、「公助」が一体となった取り組みをしっかりと進めてまいります。

問 16 あなたのお宅は津波で浸水が予測される地域ですか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,734 人)

	項目	回答数	回答比率
1	津波で浸水が予測される地域である	707	40.8%
2	津波で浸水が予測される地域ではない	852	49.1%
3	わからない	150	8.7%
	無回答	25	1.4%

問 17 あなたが津波の浸水が予測される地域にいるときに、今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われ、その揺れが1分以上続いたとします。あなたはいつ避難しますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,734 人)

	項目	回答数	回答比率
1	揺れがおさまった後、すぐに	1,128	65.1%
2	津波警報が出たら	261	15.1%
3	市町村から避難の呼びかけがあったら	198	11.4%
4	周りの人が避難したら	38	2.2%
5	避難しない	54	3.1%
	無回答	55	3.2%

問 18 あなたのお宅では、固定が必要な家具や家電などを固定していますか。

(1つだけ○印)

(回答者数 1,734 人)

	項目	回答数	回答比率
1	固定している	317	18.3%
2	寝室(子ども部屋を含む)だけは固定している	118	6.8%
3	固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない	1,021	58.9%
4	固定が必要な家具などを、寝室(子ども部屋を含む)やリビングルームなどの居室内に置いていないため、固定の必要がない	240	13.8%
	無回答	38	2.2%

問 19 あなたのお宅では南海トラフ地震に備え、飲料水を備蓄していますか。
(1つだけ○印)

(回答者数 1,734 人)

	項目	回答数	回答比率
1	7日分以上を備蓄している	115	6.6%
2	3日～6日分を備蓄している	451	26.0%
3	1日～2日分を備蓄している	469	27.0%
4	備蓄していない	660	38.1%
	無回答	39	2.2%

※ 1人1日3リットルの水が飲料用に必要であると言われています。

※ 県では3日分以上の備蓄を推奨しています。

副問 1 (問 19 で「3」もしくは「4」を選んだ方のみお答えください。)
3日分以上の水の備蓄をしていないのはどのような理由からですか。
(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,129 人)

	項目	回答数	回答比率
1	必要性を感じていない	185	16.4%
2	費用がかかる	147	13.0%
3	置き場所がない	300	26.6%
4	保存用の飲料水を準備するのが面倒である	191	16.9%
5	保存期限ごとに買い替えるのが面倒である	462	40.9%
6	その他	197	17.4%
	無回答	34	3.0%

問 20 あなたのお宅では南海トラフ地震に備え、食料を備蓄していますか。備蓄には、日常に使用できる食品を少し多く買い置きすることも含みます。(1つだけ○印)

(回答者数 1,734 人)

	項目	回答数	回答比率
1	7日分以上を備蓄している	86	5.0%
2	3日～6日分を備蓄している	572	33.0%
3	1日～2日分を備蓄している	495	28.5%
4	備蓄していない	538	31.0%
	無回答	43	2.5%

※ 県では3日分以上の備蓄を推奨しています。

副問 1 (問 20 で「3」もしくは「4」を選んだ方のみお答えください。)
3日分以上の食料の備蓄をしていないのはどのような理由からですか。
(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,033 人)

	項目	回答数	回答比率
1	必要性を感じていない	181	17.5%
2	費用がかかる	214	20.7%
3	置き場所がない	255	24.7%
4	アルファ米や乾パンなどの保存食を準備するのが面倒である	154	14.9%
5	保存期限ごとに買い替えるのが面倒である	499	48.3%
6	その他	119	11.5%
	無回答	27	2.6%

問21 普段、車に給油するためにガソリンスタンドに行くのは、燃料タンクの残量がどれくらいになった時ですか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,734人)

	項目	回答数	回答比率
1	残量が半分くらいになった時	413	23.8%
2	残量が4分の1程度になった時	680	39.2%
3	残量がほとんど無くなった時	351	20.2%
4	車を運転しないので給油する機会がない	225	13.0%
	無回答	65	3.7%

副問1 (問21で「1~3」のいずれかを選んだ方のみお答えください。)

普段、ガソリンスタンドで車に給油する時は、どれくらいの量を入れますか。

(1つだけ○印)

(回答者数 1,444人)

	項目	回答数	回答比率
1	満タンにする	1,188	82.3%
2	満タンにせずに、一定の量を入れる	64	4.4%
3	満タンにせずに、一定の金額分を入れる	177	12.3%
	無回答	15	1.0%

問22 ご自宅に感震ブレーカー(地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止める装置)を設置していますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,734人)

	項目	回答数	回答比率
1	設置している	631	36.4%
2	設置していない	600	34.6%
3	わからない	452	26.1%
	無回答	51	2.9%

副問1 (問22で「2」を選んだ方のみお答えください。)

感震ブレーカーを設置していないのは、どのような理由からですか。

(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 600人)

	項目	回答数	回答比率
1	感震ブレーカーのことを知らなかったため	309	51.5%
2	必要性を感じていない	79	13.2%
3	手間がかかる	48	8.0%
4	費用がかかる	114	19.0%
5	設置の方法がわからない	116	19.3%
6	どこで売っているのかわからない	97	16.2%
7	その他	39	6.5%
	無回答	9	1.5%



ヘルパちゃん

【地域の防災力について】

南海トラフ地震が発生すると高知県の広い範囲で甚大な被害が発生するため、すぐには支援活動が行われないことも想定されます。このため地域での助け合いが大変重要となります。

問23 過去1年間に地域や職場の地震に関する防災訓練に参加したことがありますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,734人)

	項目	回答数	回答比率
1	参加した	690	39.8%
2	都合が合わず参加できなかった	360	20.8%
3	訓練がなかった、またはあったかわからない	497	28.7%
4	参加しようと思わなかった	143	8.2%
	無回答	44	2.5%

問24 地域や職場の地震に関する防災訓練に、どうすれば参加する人が増えると思いますか。(2つまで○印)

(回答者数 1,734人)

	項目	回答数	回答比率
1	近所同士で声を掛け合って一緒に参加する	784	45.2%
2	訓練の回数を増やす、参加しやすい日に開催する	452	26.1%
3	パンフレットやチラシ、テレビCMなどで訓練の広報を行う	279	16.1%
4	他のイベントと一緒にを行う	467	26.9%
5	参加賞(非常食など)を出す	346	20.0%
6	参加を義務化する	406	23.4%
7	その他	46	2.7%
	無回答	61	3.5%

問25 「南海トラフ地震臨時情報※」が発表されることについて、ご存じでしたか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,734人)

	項目	回答数	回答比率
1	知っている	600	34.6%
2	聞いたことはあるが、内容はよく知らない	520	30.0%
3	知らない	574	33.1%
	無回答	40	2.3%

※ 南海トラフ地震臨時情報:南海トラフ沿いで異常な現象(東海地震の発生など)が観測され、大規模地震発生の可能性が平常時より相対的に高まったと評価された場合に、気象庁から発表される情報

県民の皆様に特に取り組んでいただきたいこと

1. 「命を守る」ための備え

【津波からの早期避難】

強い揺れや弱くても長い揺れを感じたら、揺れがおさまり次第、津波警報・注意報や避難指示・勧告を待たず、速やかに決められた避難場所へ避難しましょう。
(東日本大震災では、停電の影響で、警報が鳴らなかった地域がありました)

【室内の安全対策】

強い揺れにより、家具や家電などが倒れたり、飛んでくることがあります。
耐震金具などによる家具や家電の固定や、配置の見直しをしましょう(市町村の補助事業をご活用ください)。

【通電火災の防止】

電気が復旧したときに、破損した電気製品や屋内配線に再び電気が流れることで火災が発生することがあります。揺れがおさまったあと、避難するときにはブレーカーを落としましょう。

地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止める感震ブレーカーの設置も効果的です。感震ブレーカーは、簡易タイプであればお近くのホームセンター、家電量販店等で購入できます。

【南海トラフ地震臨時情報について】

南海トラフ地震臨時情報は、地震の発生を予知するものではなく、あくまでも大規模地震発生の可能性が平常時より相対的に高まったと評価された時に発表されます

が、情報が発表されていない状態で地震が起こることもありますし、逆に、情報が発表されても、地震が発生しないこともあります。

このため、突発的な地震に備えることが基本となりますが、情報が発表されたら、国や自治体から呼びかけられる防災対応、例えば、避難場所や非常持ち出し品の確認、津波の浸水が予想される一部の地域では事前避難を行うなど、普段よりも警戒レベルを上げ、巨大地震の発生に備えることが重要です。

2. 「命をつなぐ」ための備え

【食料や飲料水の備蓄】

発災後3日間は県外から支援物資が届きません。

3日分以上（可能であれば1週間分以上）の備蓄をしましょう。

備蓄に、特別な保存水や保存食である必要はありません。普段購入している水やレトルト食品、缶詰などを少し多めに購入しておき、賞味期限の近いものから使用して、その分を補充する「ローリングストック」による備蓄がおすすめです。

【避難所運営への関わり】

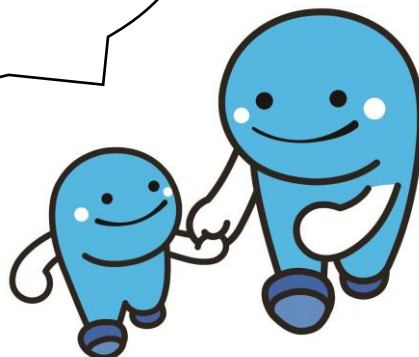
地震発生直後、行政は人命最優先の対応を迫られるため、避難所の運営まで公的な支援が届かないことが予想されます。

日頃から避難所運営訓練に参加し、発災後にマニュアルに基づいた避難所運営が出来るようにしておきましょう。

【ガソリンの満タン給油】

地震発生後は深刻な燃料不足が懸念されます。日頃から、車の燃料残量が半分となる前に、こまめな満タン給油をしましょう。

いただいたお答えは、
県の政策を進めるうえでの
大事な基礎資料と
なっています。



【消防団について】

消防団は、消防本部・消防署と同様に市町村の消防機関です。
 「自らの地域は自らで守る」という精神に基づき、普段は様々な仕事に就いている住民が、非常勤特別職の地方公務員として災害などに対応します。

問26 お住まいの地域の消防団に入団していますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,734 人)

	項目	回答数	回答比率
1	入団し、積極的に参加している	24	1.4%
2	入団し、時々参加している	9	0.5%
3	入団しているが、あまり参加していない	8	0.5%
4	入団していないが、参加してみたい	96	5.5%
5	入団していないし、今後も参加する予定はない	1,113	64.2%
6	住んでいる地域に消防団があるかわからない	377	21.7%
	無回答	107	6.2%

副問1 (問26で「1～3」のいずれかを選んだ方のみお答えください。)

消防団に入団している方にお聞きします。どういった理由で入団されましたか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 41 人)

	項目	回答数	回答比率
1	自分たちの地域は自分たちで守る必要があると感じたから	21	51.2%
2	友人、知人に誘われたから	19	46.3%
3	報酬に魅力を感じたから	-	-
4	人脈を広げられるから	6	14.6%
5	カッコいいと思ったから	1	2.4%
6	その他	5	12.2%
	無回答	2	4.9%

問27 消防団に対し、どのようなイメージを持っていますか。(3つまで○印)

(回答者数 1,734 人)

	項目	回答数	回答比率
1	地域に密着した防災活動をしている	1,067	61.5%
2	地域を守る意識の高い人が参加している	611	35.2%
3	地元の人同士で和気あいあいと活動している	369	21.3%
4	体力が必要	498	28.7%
5	会社員は仕事があるので参加しづらい	398	23.0%
6	土日に訓練等の活動があり、大変	159	9.2%
7	若い人が不足している	669	38.6%
8	規律が厳しい	21	1.2%
9	そもそも消防団とは何か知らない	124	7.2%
10	その他	35	2.0%
	無回答	90	5.2%

問 28 どうすれば消防団に興味を持ってもらえますか。(2つまで○印)

(回答者数 1,734 人)

	項目	回答数	回答比率
1	団員になると、飲食店等で割引などのサービスが受けられる制度がある	293	16.9%
2	団員が知人を誘って一緒に参加する	511	29.5%
3	パンフレットやチラシ、テレビCMなどでもっと広報する	511	29.5%
4	訓練の回数を減らすなど、団員の負担を軽減する	214	12.3%
5	消防団の担っている役割の大切さや必要性をPRする	1,061	61.2%
6	消防団は必要ない	28	1.6%
7	その他	61	3.5%
	無回答	138	8.0%



ゆうどうくん

【住宅の耐震化について】

阪神・淡路大震災や熊本地震では、住宅の倒壊により多くの尊い命が奪われました。近い将来必ず起こると言われている南海トラフ地震では、強い揺れだけではなく、東日本大震災のように津波の到達も想定されています。

地震による住宅やブロック塀などの倒壊は、命を失う直接的な原因となるだけでなく、その後の火災の発生や拡大、津波からの逃げ遅れ、さらには倒壊した住宅・ブロック塀のがれきが道路をふさいで消防活動や救急搬送が妨げられるなど、さらに多くの命を失うことにも繋がります。南海トラフ地震による犠牲者を限りなくゼロにするためには、住宅の耐震化、ブロック塀の安全対策が必要です。

南海トラフ地震に備え、自分やご家族、地域の方々の安全のため、住宅やブロック塀の地震対策を進めましょう。

大丈夫かよ! おまんくは?

地震が
おまんくを
高知家

地震の後に発生する津波や火災からどうやって逃げますか?
あなたとあなたの家族を守るのは、あなた自身です。

いつかは必ずやってくる南海トラフ地震。
その強い揺れにより住宅が倒壊し、あなたやあなたの家族が
その下敷きになってしまったら!?
地震で倒壊した建物がガレキとなって道路をふさぎ、
救急車や消防車が通れなくなってしまうら!?

住宅の耐震改修のための補助金があります。

対象住宅 昭和56年5月31日以前に建築された住宅(戸建て、長屋及び共同住宅など)
申込先 住宅のある市町村 申請者 対象住宅の所有者

耐震診断 木造住宅の場合 自己負担 3千円以内	耐震設計 補助金 20.5万円~	耐震改修 補助金 92.5万円~
---	-------------------------------	-------------------------------

※市町村によって額は異なります。
※木造以外の住宅へ補助を行っているところもありますので、詳しくは市町村へお問い合わせください。

県に登録された
専門家がやるから安心かよ!

耐震改修って?
大きな地震が起きた時に
家が倒壊し、けがや
命が危険にさらされ
ないよう
改修・増強する
ことです。

耐震3兄弟
印刷マサヒロ

このチラシに関するお問い合わせは、高知県土木部住宅課まで TEL 088-823-9856 (受付時間 午前8時30分~午後5時 休日を除く月~金) **高知県 耐震 検索**

問 29 あなたのお住まい（持家、借家に関わらず）の建築年と構造をお答えください。増改築されている場合は、主な部分の建築年としてください。（1つだけ○印）

（回答者数 1,734 人）

	項 目	回答数	回答比率
1	昭和 56 年5月以前の木造住宅	486	28.0%
2	昭和 56 年6月以降で平成 12 年5月以前※の木造住宅	342	19.7%
3	平成 12 年6月以降の木造住宅	282	16.3%
4	昭和 56 年5月以前の非木造住宅	71	4.1%
5	昭和 56 年6月以降の非木造住宅	276	15.9%
6	わからない	182	10.5%
	無回答	95	5.5%

※ 平成 12 年の建築基準法関連告示により、壁をバランス良く配置する基準や、柱や筋交い端部等を結合するための構造方法が明確化された。

副問 1 （問 29 で「1」を選んだ方のみお答えください。）

専門家による耐震診断（地震の揺れに対する建物の強さの診断）を受けたことがありますか、また、その結果はどうでしたか。（1つだけ○印）

（回答者数 486 人）

	項 目	回答数	回答比率
1	診断を受けた結果、耐震性がなく耐震改修が必要と診断された	109	22.4%
2	診断を受けた結果、耐震性があり耐震改修は必要ないと診断された	12	2.5%
3	診断を受けたことはない	358	73.7%
	無回答	7	1.4%

副問 2 （副問 1 で「1」を選んだ方のみお答えください。）

耐震改修工事を行いましたか。また、建て替えなどを予定していますか。（1つだけ○印）

（回答者数 109 人）

	項 目	回答数	回答比率
1	耐震改修工事を行った	60	55.0%
2	今後、耐震改修工事を行う、または、建て替える予定	8	7.3%
3	耐震改修工事も建て替えも行う予定はない	26	23.9%
4	検討中	13	11.9%
	無回答	2	1.8%

副問3 (副問1で「3」を選んだ方のみお答えください。)

耐震診断を受けていないのは、どのような理由からですか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 358人)

	項目	回答数	回答比率
1	自分が生きている間に南海トラフ地震は起きないと思う	38	10.6%
2	自宅が地震に強いと思っている	23	6.4%
3	自宅が地震に弱いと思っているので受ける意味が無い	49	13.7%
4	申し込み手続きや部屋の片づけなど、手間がかかる	73	20.4%
5	耐震診断の費用がかかる	107	29.9%
6	耐震診断のやり方がわからない	41	11.5%
7	近いうちにリフォームする予定で、その時に耐震診断をするつもりである	11	3.1%
8	近いうちに建て替えるつもりである	12	3.4%
9	耐震診断の結果、耐震改修工事などが必要になっても費用が高額で出せない	152	42.5%
10	どんなに耐震化しても大地震(または大津波)にあえば被害は避けられないと思う	120	33.5%
11	その他	39	10.9%
	無回答	27	7.5%

副問4 (副問2で「3」もしくは「4」を選んだ方のみお答えください。)

耐震改修工事などをしていないのは、どのような理由からですか。

(1つだけ○印)

(回答者数 39人)

	項目	回答数	回答比率
1	費用が高い	19	48.7%
2	申し込み手続きに手間がかかる	-	-
3	家の中に他人が入ってほしくない	-	-
4	工事中の生活に支障が出る	1	2.6%
5	工事に伴う荷物の移動が面倒だ	4	10.3%
6	信頼できる業者を知らない	-	-
7	どんなに耐震化しても大地震(または大津波)にあえば被害は避けられないと思う	5	12.8%
8	その他	4	10.3%
	無回答	6	15.4%

副問5 (各問から副問5へ誘導された方のみお答えください。)

県や市町村が昭和56年5月31日以前に建築された住宅の耐震診断や耐震設計、耐震改修工事にかかった費用の一部を補助していますが、ご存じですか。(1つだけ○印)

(回答者数 548人)

	項目	回答数	回答比率
1	知っている	317	57.8%
2	知らない	103	18.8%
3	既に利用した(利用中を含む)	18	3.3%
	無回答	110	20.1%

※詳しくは、同封のチラシ「大丈夫かよ！おまんくは？」をご覧ください。

副問6 (副問5で「1」もしくは「3」を選んだ方のみお答えください。)

どのようにしてこの補助制度を知りましたか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 335人)

	項目	回答数	回答比率
1	ポスター、パンフレット	72	21.5%
2	知人、親族から聞いて	82	24.5%
3	市町村役場、工務店、設計事務所等の職員から聞いて	115	34.3%
4	イベント、講演会	5	1.5%
5	新聞、広告、広報誌	166	49.6%
6	テレビ、ラジオ	128	38.2%
7	その他	4	1.2%
	無回答	5	1.5%

問30 耐震改修工事と耐震改修設計について、自己負担が合わせてどのくらいの金額までなら工事をしてもよいと思いますか。(1つだけ○印)

(回答者数 557人)

	項目	回答数	回答比率
1	0円	74	13.3%
2	10万円まで	79	14.2%
3	20万円まで	94	16.9%
4	40万円まで	58	10.4%
5	60万円まで	45	8.1%
6	80万円まで	11	2.0%
7	100万円まで	70	12.6%
8	100万円以上でもよい	31	5.6%
	無回答	95	17.1%

問 31 県や市町村では、危険なコンクリートブロック塀の改修工事など、安全対策にかかる費用の一部を補助していますが、自宅の塀について、自己負担がどのくらいの金額なら安全対策をしてもよいと思いますか。（1つだけ○印）

（回答者数 1,734 人）

	項 目	回答数	回答比率
1	0円	217	12.5%
2	10万円まで	410	23.6%
3	20万円まで	181	10.4%
4	40万円まで	59	3.4%
5	60万円まで	35	2.0%
6	80万円まで	6	0.3%
7	100万円まで	39	2.2%
8	100万円以上でもよい	21	1.2%
9	ブロック塀がない、もしくはすでに対策済であるなど、安全対策を行う必要がない	595	34.3%
	無回答	171	9.9%

※詳しくは、同封のチラシ「ちゃんと避難はできるかよ!？」をご覧ください。

問 32 今後、県が市町村等と協力して行う施策として、特に力を入れるべきものは何ですか。（3つまで○印）

（回答者数 1,734 人）

	項 目	回答数	回答比率
1	相談窓口の設置など、気軽に相談できる環境の整備	642	37.0%
2	地区ごとの説明会、パンフレットの配布などによる、耐震化の必要性の啓発や補助制度の周知	410	23.6%
3	戸別に訪問しての、耐震化の必要性や補助制度の丁寧な説明	356	20.5%
4	耐震診断士の無料派遣	620	35.8%
5	耐震設計や耐震改修工事に対する補助金額の引き上げ	508	29.3%
6	一気に耐震改修工事できない場合に対応するための段階的な耐震改修工事への支援	169	9.7%
7	昭和 56 年6月以降で平成 12 年5月以前の住宅の耐震化（耐震診断、耐震工事、耐震改修工事）への費用の支援	336	19.4%
8	民間金融機関と連携した低金利による貸付制度による支援	167	9.6%
9	信頼できる設計事務所や工務店の紹介など、悪徳リフォーム予防対策	454	26.2%
10	現場見学会など、耐震改修工事の実例に触れる機会の提供	110	6.3%
11	オーナーに対する指導などによる、賃貸住宅の耐震化の促進	131	7.6%
12	行政には特に期待していない	63	3.6%
13	その他	21	1.2%
	無回答	130	7.5%

4. 県民の健康づくりについて

高知県は、65歳までに亡くなる人数を死因別に全国と比較すると、不慮の事故を除いて、がん、脳卒中、心疾患の生活習慣病の割合が高い状況です。生活習慣病を予防するためには日々の健康的な行動が大切です。

県では特に減塩、野菜摂取、運動、節酒、禁煙の5つの分野について啓発を行っています。

問 33 緑黄色野菜（人参、ほうれん草、ピーマン、トマト、かぼちゃ、ブロッコリー、にら、おくらなど）を使った料理をどのくらい食べますか。（1つだけ○印）

（回答者数 1,734 人）

	項目	回答数	回答比率
1	毎日3回	75	4.3%
2	毎日2回	291	16.8%
3	毎日1回	642	37.0%
4	2日に1回	283	16.3%
5	週に1～2回	365	21.0%
6	ほとんど食べない	54	3.1%
	無回答	24	1.4%

問 34 その他の野菜（野菜類のうち緑黄色野菜以外（なす、きゅうり、レタス、キャベツ、白菜、もやし、ごぼう、大根、たまねぎなど））を使った料理をどのくらい食べますか。（1つだけ○印）

（回答者数 1,734 人）

	項目	回答数	回答比率
1	毎日3回	105	6.1%
2	毎日2回	354	20.4%
3	毎日1回	728	42.0%
4	2日に1回	251	14.5%
5	週に1～2回	244	14.1%
6	ほとんど食べない	31	1.8%
	無回答	21	1.2%

問 35 1回 30分以上の軽く汗をかく（少し息の切れる）運動※を週2日以上、1年以上実施していますか。（1つだけ○印）

（回答者数 1,734 人）

	項目	回答数	回答比率
1	はい	595	34.3%
2	いいえ	1,106	63.8%
	無回答	33	1.9%

運動※とは、スポーツやフィットネスなどの健康・体力の維持・増進を目的として、計画的・定期的に行うもの

問 36 日常生活において歩行又は同等の身体活動^{*}を1日1時間以上実施していますか。
(1つだけ○印)

(回答者数 1,734 人)

	項目	回答数	回答比率
1	はい	989	57.0%
2	いいえ	723	41.7%
	無回答	22	1.3%

身体活動^{*}とは、掃除機、床掃除、自転車、子どもと遊ぶ、介護、庭仕事、階段の昇降などが含まれます

問 37 週に何日位お酒（清酒、焼酎、ビール、洋酒など）を飲みますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,734 人)

	項目	回答数	回答比率
1	毎日	396	22.8%
2	週5～6日	111	6.4%
3	週3～4日	97	5.6%
4	週1～2日	125	7.2%
5	月に1～3日	83	4.8%
6	ほとんど飲まない	310	17.9%
7	飲まない(飲めない)	497	28.7%
8	やめた	72	4.2%
	無回答	43	2.5%

副問1 (問37で「1～5」のいずれかを選んだ方のみお答えください。)

お酒を飲む日は1日あたり、どれくらいの量を飲みますか。清酒に換算し、あてはまるものを選んでください。(1つだけ○印)

(回答者数 812 人)

	項目	回答数	回答比率
1	1合(180ml)未満	265	32.6%
2	1合以上2合(360ml)未満	265	32.6%
3	2合以上3合(540ml)未満	165	20.3%
4	3合以上4合(720ml)未満	54	6.7%
5	4合以上5合(900ml)未満	23	2.8%
6	5合(900ml)以上	27	3.3%
	無回答	13	1.6%

清酒1合(アルコール度数15度・180ml)は、次の量にほぼ相当します。
ビール中瓶1本(同5度・500ml)、焼酎0.6合(同25度・約110ml)、
ワイン1/4本(同14度・約180ml)、ウイスキーダブル1杯(同43度・60ml)、
缶チューハイ1.5缶(同5度・約520ml)

問 38 たばこ※を吸いますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,734 人)

	項目	回答数	回答比率
1	毎日吸っている	274	15.8%
2	時々吸う日がある	27	1.6%
3	以前は吸っていたが、1ヶ月以上吸っていない	154	8.9%
4	吸わない	1,236	71.3%
	無回答	43	2.5%

たばこ※には加熱式たばこも含まれます。

加熱式たばことは、たばこ葉やたばこ葉を用いた加工品に火を点けずに、電氣的に加熱して吸う、新しいタイプのたばこです。たばこ葉の入ったスティック等を、それぞれの装置にセットして使用します。(商品例) : IQOS (アイコス)、glo (グロー)、Ploom TECH (プルームテック)

問 39 健康づくりのために行動していること、またこれから行動したいと思うことは何ですか。
(1～9の各項目について、それぞれあてはまるもの1つに○印)

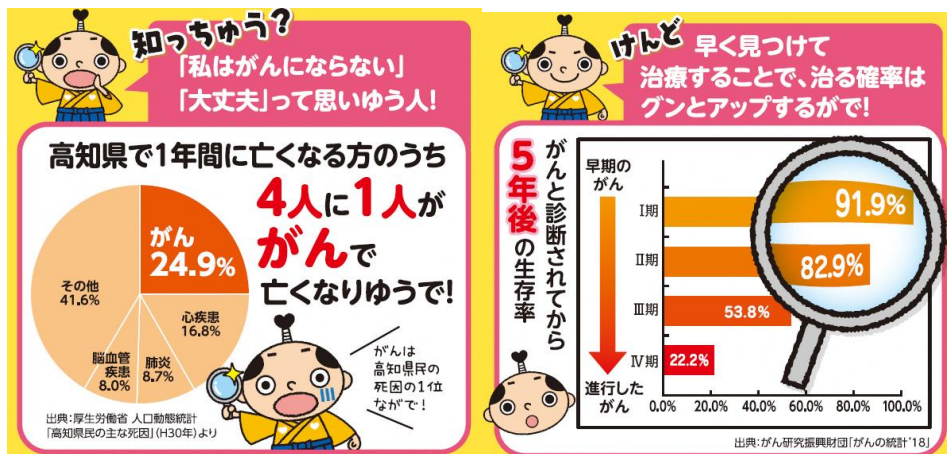
(回答者数 1,734 人)

	行動している	これから 行動したい	必要と 思わない	無回答
1. 積極的に身体を動かす	756	731	51	196
	43.6%	42.2%	2.9%	11.3%
2. 栄養バランスや食事の量を考えた食生活	887	610	42	195
	51.2%	35.2%	2.4%	11.2%
3. 塩分を控えた食生活	836	592	98	208
	48.2%	34.1%	5.7%	12.0%
4. 趣味や娯楽など、仕事以外で楽しいと思える時間をつくる	910	538	50	236
	52.5%	31.0%	2.9%	13.6%
5. 十分な睡眠、休息をとる	1,074	451	12	197
	61.9%	26.0%	0.7%	11.4%
6. たばこは吸わない、あるいは以前吸っていたが現在はやめている	1,179	148	138	269
	68.0%	8.5%	8.0%	15.5%
7. お酒は飲まない、あるいはお酒を飲まない日を週2回以上つくる	947	307	210	270
	54.6%	17.7%	12.1%	15.6%
8. 定期的に健康診断を受ける	1,108	376	48	202
	63.9%	21.7%	2.8%	11.6%
9. 定期的に歯科健診を受ける	655	732	106	241
	37.8%	42.2%	6.1%	13.9%

5. がん検診について

高知県では4人に1人ががんで死亡し、死亡原因の1位になっています。しかしながら、がんは、定期的ながん検診を受診し、早期発見・早期治療を行えば、90%以上が治る^{*}と言われる病気です。

^{*}「治る」：全てのがんを対象とした、診断時からの5年相対生存率。(I期) 出典：がん研究振興財団「がんの統計'18」



そこで、県ではがん検診の受診促進を「日本一の健康長寿県構想」の重点項目の一つとして位置付け、多くの県民の方ながん検診を受診してもらえるよう取り組みを進めています。

例えば、市町村が検診対象者の方に個別に検診の案内を送付したり、一度に複数のがん検診が受診できるセット検診日を増やすことを支援しています。また、乳・子宮頸がん検診を土曜日に実施している医療機関の周知や、お住まいの市町村以外の検診会場でもがん検診が受診できる広域検診を進めています。

今後も、県民の皆さんながん検診の意義・重要性をご理解いただき、ご自身やご家族の安心のために、より多くの方ながん検診を受診していただけるよう、普及啓発や利便性の向上を図っていきたくと考えています。

^{*}詳しくは同封のパンフレット「ちゃんと知っちゅう?がん検診」をご覧ください。

検診種類	対象者	検診間隔	
胃がん	内視鏡	50歳以上男女	2年に1回
	X線		
肺がん	40歳以上男女	毎年	
大腸がん			
乳がん	40歳以上女性	2年に1回	
子宮頸がん	20歳以上女性		

^{*}胃がんの内視鏡検診は一部の市町村でのみ実施中です



市町村検診の問い合わせ先や、検診日程は県のホームページで確認できるさね!

健康維新の志士 けんしん けんたろう
高知県 がん検診 検索



問 40 あなたが、がんについて知っていることをお答えください。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,734 人)

	項目	回答数	回答比率
1	がんは、早期発見・早期治療をすることで90%以上が治ると言われている	1,334	76.9%
2	生涯のうち約2人に1人が、がんと診断されると言われている	964	55.6%
3	たばこは、様々ながんの原因の中で、予防ができる最大の原因である	1,238	71.4%
4	お酒の飲み過ぎは、肝臓がん・大腸がん・食道がんのリスク上昇が確実である	1,158	66.8%
5	子宮頸がんのように、若い世代で増えているがんもある	914	52.7%
6	がんの主な治療法には、手術療法、放射線療法、薬物療法(化学療法含)がある	1,211	69.8%
	無回答	99	5.7%

<がん検診受診率> 国民生活基礎調査 (厚生労働省 H28)

	肺がん	胃がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
高知県	52.7%	44.7%	41.7%	43.9%	48.4%
全国平均	46.2%	40.9%	41.4%	42.3%	44.9%

いずれの検診も全国平均を上回っていますが、がんの早期発見・早期治療のため、さらなる受診促進が必要です。

問 41 子宮頸がん検診は 20 歳以上の女性、乳がん検診は 40 歳以上の女性、肺がん・胃がん・大腸がん検診は 40 歳以上の全ての住民の方を対象に市町村が実施しなければならないこととなっています。また、職場健診や加入している医療保険者でがん検診が実施されている場合もあります。あなたは、次の「1～5」のうち、どれに該当しますか。(当てはまるものすべてに○印)

※19 歳以下の女性と 39 歳以下の男性は「5」を選んでください

(回答者数 1,734 人)

	項目	回答数	回答比率
1	市町村が実施するがん検診の対象者である	936	54.0%
2	職場が実施するがん検診の対象者である	317	18.3%
3	加入している医療保険者が実施するがん検診の対象者である	171	9.9%
4	どのがん検診の対象者かわからない	122	7.0%
5	どの対象でもない	191	11.0%
	無回答	192	11.1%

問 42 あなたは、がん検診に関する情報をどの媒体を活用して周知すればいいと思いますか。
(2つまで○印)

(回答者数 1,734 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	テレビ	1,041	60.0%
2	ラジオ	73	4.2%
3	新聞	435	25.1%
4	リーフレット・チラシ	106	6.1%
5	広報紙(医療機関)	172	9.9%
6	広報紙(県・市町村)	810	46.7%
7	インターネット	167	9.6%
8	SNS	126	7.3%
9	口コミ	33	1.9%
10	その他	23	1.3%
	無回答	82	4.7%

問 43 あなたが、過去1年間(子宮頸がん及び乳がん検診は過去2年間)に受診したがん検診の種類をお答えください。(健康診断や人間ドックで受診したものも含まれます。)(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,734 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	いずれも受けていない	614	35.4%
2	肺がん検診(胸部エックス線検査・CT検査)	663	38.2%
3	胃がん検診(胃部エックス線検査・胃内視鏡検査)	606	34.9%
4	大腸がん検診(便潜血検査・大腸内視鏡検査)	597	34.4%
5	子宮頸がん検診(細胞診検査) ※女性の方のみ回答対象	316	18.2%
6	乳がん検診(マンモグラフィ・乳房超音波検査) ※女性の方のみ回答対象	343	19.8%
	無回答	165	9.5%

副問1 (問43で「1」を選んだ方と、女性の方で「5」「6」のいずれか一方又は両方ともを選ばなかった方のみお答えください。)

がん検診を受けていない理由をお答えください。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 957 人)

	項 目	回答数	回答比率
1	忙しくて時間が取れないから	127	13.3%
2	受けるのが面倒だから	199	20.8%
3	必要な時は医療機関を受診するから	260	27.2%
4	がん検診の内容がわからないので不安だから	48	5.0%
5	検診費用が高いから	73	7.6%
6	医療機関にかかっているから	111	11.6%
7	がん検診を受診できることを知らなかったから	24	2.5%
8	がん検診を受診する方法を知らなかったから	44	4.6%
9	がん検診の対象年齢ではないから	87	9.1%
10	その他	76	7.9%
	無回答	192	20.1%

副問1-1 (副問1で「1」を選んだ方のみお答えください。)
いつなら受診可能ですか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 127人)

	項目	回答数	回答比率
1	土曜日	30	23.6%
2	日曜日	49	38.6%
3	平日夜間	18	14.2%
4	平日早朝	8	6.3%
5	不明	44	34.6%
	無回答	9	7.1%

副問2 (問43で「2~6」いずれかひとつ以上選んだ方のみお答えください。)
がん検診を受けた理由をお答えください。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 975人)

	項目	回答数	回答比率
1	がん予防、早期発見・早期治療につなげたいから	564	57.8%
2	がん検診の対象年齢だから	320	32.8%
3	職場の健診に含まれていたから	315	32.3%
4	市町村からがん検診の案内(広報紙・個別通知・電話勧奨等)があったから	252	25.8%
5	職場からがん検診を勧められたから	29	3.0%
6	家族や友人、近所の方などにがん検診を勧められたから	57	5.8%
7	医師にがん検診を勧められたから	74	7.6%
8	がん検診を勧める情報(テレビやラジオCM・情報誌等)を見聞きしたから	39	4.0%
9	土曜・日曜に受けられたから	20	2.1%
10	検診費用が安かったから	80	8.2%
11	無料クーポン券 ^{※1} が届いたから	35	3.6%
12	健康パスポートのヘルシーポイントがもらえるから	16	1.6%
13	広域検診 ^{※2} があったから	24	2.5%
14	気になる症状があったから	100	10.3%
15	身近にがんにかかった人がいるから	111	11.4%
16	毎回受けているから	283	29.0%
17	その他	29	3.0%
	無回答	70	7.2%

※1 無料クーポン券:一部の方には市町村から無料クーポン券が送付されている場合があります

※2 広域検診:住所地の市町村以外で市町村がん検診が受診できる検診

6. 高知県の文化振興について

県では、県民誰もが文化芸術に親しむための環境づくりや、本県固有の文化の継承発展、それぞれの地域の特性に応じた文化芸術の振興など、県民の文化芸術活動の推進の必要性が高まってきたことから、平成28年度に「高知県文化芸術振興ビジョン」を策定しました。

本ビジョンは「文化芸術の力で心豊かに暮らせる高知県」を基本理念とし、文化芸術を鑑賞する機会の充実や文化芸術活動に対する支援、子どもの頃から文化芸術に親しむ機会を提供するとともに、様々な文化芸術活動や各地に残る歴史的な資産を本県の文化資源として、観光振興や産業振興、地域の活性化につながる取り組みを進めています。

問44 日ごろどのような文化芸術活動に取り組んだり、鑑賞等されていますか。

(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,734人)

	項目	回答数	回答比率
1	音楽(オペラ、オーケストラ、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップスなど)	414	23.9%
2	美術(絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、写真など)	304	17.5%
3	演劇(現代演劇、人形劇、ミュージカルなど)	71	4.1%
4	舞踊(日本舞踊、バレエ、モダンダンスなど)	54	3.1%
5	文学(小説、詩、短歌、俳句など)	225	13.0%
6	メディア芸術(まんが、アニメーション、映画など)	500	28.8%
7	生活文化(茶道、華道、書道、囲碁など)	104	6.0%
8	伝統芸能(能楽、歌舞伎、箏曲など)	58	3.3%
9	歴史・文化財(建造物、史跡、名勝など)	232	13.4%
10	その他	12	0.7%
11	特にしていない	709	40.9%
	無回答	88	5.1%

問45 今後、国内外に発信していきたい高知の文化芸術は何だと思いませんか。

(2つまで○印)

(回答者数 1,734人)

	項目	回答数	回答比率
1	よさこい祭り	1,057	61.0%
2	まんが文化	171	9.9%
3	お遍路文化	449	25.9%
4	歴史遺産(高知城等)	249	14.4%
5	伝統芸能(神楽等)	130	7.5%
6	食文化(皿鉢料理、おきやく等)	779	44.9%
7	その他	10	0.6%
8	特にない	132	7.6%
	無回答	51	2.9%

問 46 高知の文化芸術の振興を図ることにより社会にもたらされる効果として期待すること
は何ですか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,734 人)

	項目	回答数	回答比率
1	地域社会・経済の活性化	1,073	61.9%
2	観光客や移住者の増加	893	51.5%
3	障害者や高齢者の活躍の場の創出	308	17.8%
4	地域のイメージの向上	473	27.3%
5	地域に対する愛着や誇りの醸成	637	36.7%
6	人々の創造性の向上	281	16.2%
7	人々が生きる楽しみを見出せる	693	40.0%
8	子どもの心豊かな成長	627	36.2%
9	健康の増進(脳の活性化など)	363	20.9%
10	国際交流の促進	326	18.8%
11	その他	9	0.5%
12	特にない	56	3.2%
13	わからない	99	5.7%
	無回答	58	3.3%

【まんが文化について】

高知県では、やなせたかし先生や横山隆一先生など数多くの有名な漫画家が生まれるとともに、まんが文化を振興するため「全国高等学校漫画選手権大会（まんが甲子園）」や「まんさい」、「全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐」などのまんがイベントの開催やまんが王国土佐情報発信拠点「高知まんがBASE」を整備するなど、全国的にも特色のある取り組みを行ってきました。

このような状況から、「まんが王国・土佐」を国内外に発信し、まんがを貴重な文化資源として位置づけ、県を挙げてまんがを通じた人材の育成や地域の活性化に努めています。

問 47 あなたは、まんが文化にどのように親しんでいますか。
(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,734 人)

	項目	回答数	回答比率
1	読んでいる	673	38.8%
2	描いている	10	0.6%
3	イベントに参加している	18	1.0%
4	まんがの題材になった場所を訪れる	34	2.0%
5	まんがで紹介されている料理、スポーツや体験を行う	66	3.8%
6	その他	25	1.4%
7	特にない	934	53.9%
	無回答	74	4.3%

7. 障害者スポーツ振興について

県では、県民誰もが、障害の有無に関わらず、各々の年代や関心、適性等に応じて、身近な地域で日常的にスポーツに親しむことができる機会の充実を図り、「みる」「する」「ささえる」といった多様なスタイルでスポーツに参加する人口の増加を目指しています。

※障害者スポーツとは

ここでは障害のある方が行うスポーツ活動を指します。一部の競技は障害のない方も一緒に行うこともあります。

(全国障害者スポーツ大会実施競技)

車いすバスケットボール、陸上競技、水泳競技、卓球、フライングディスク、ボウリング、アーチェリー、サッカー、ソフトボール、バレーボール、グランドソフトボール、フットベースボール、バスケットボール

(その他の種目)

ウィルチェアー（車いす）ラグビー、サウンドテーブルテニス、ボッチャ、グラウンドゴルフ、ペタンク、ダンス他

問 48 この1年間で障害者スポーツにどのような形で参加しましたか（「みる」「する」「ささえる」のいずれでも可）。（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数 1,734 人）

	項目	回答数	回答比率
1	テレビやインターネットなどで観戦した	550	31.7%
2	直接会場に行って観戦した	24	1.4%
3	身近な地域の活動に参加した（「する」「ささえる」のいずれでも可）	39	2.2%
4	参加したことがない	1,066	61.5%
5	その他	18	1.0%
	無回答	100	5.8%

副問 1（問 48 で「4」を選んだ方のみお答えください。）

その理由は何ですか。（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数 1,066 人）

	項目	回答数	回答比率
1	どのような競技があるか知らないから	183	17.2%
2	どのような選手がいるか知らないから	132	12.4%
3	競技のルールやみどころがわからないから	95	8.9%
4	身近な場所で行われていないから	419	39.3%
5	関わっている人が身近にいないから	531	49.8%
6	興味がないから	333	31.2%
7	その他	54	5.1%
	無回答	25	2.3%

問 49 障害者スポーツ活動の充実に向けて、県として力を入れるべきだと思うものは何ですか。
(2つまで○印)

(回答者数 1,734 人)

	項目	回答数	回答比率
1	障害者が身近な地域で気軽にスポーツに参加できる環境づくり	872	50.3%
2	競技力向上を目指した選手やチームへの支援	448	25.8%
3	障害者スポーツの情報発信	566	32.6%
4	障害者スポーツの理解啓発の推進	434	25.0%
5	その他	33	1.9%
	無回答	191	11.0%

副問 1 (問 49 で「1」を選んだ方のみお答えください。)

「環境づくり」において重要だと思うものは何ですか。(2つまで○印)

(回答者数 872 人)

	項目	回答数	回答比率
1	活動をささえる指導者やボランティアなど人材の育成	464	53.2%
2	障害の有無に関わらず誰もが参加できるイベントの開催	321	36.8%
3	活動を行う場の確保、活動のPR	162	18.6%
4	障害者のスポーツ参加のきっかけ作り	204	23.4%
5	障害者が利用しやすい施設の整備	341	39.1%
6	障害者がスポーツ活動を行うための移動支援	89	10.2%
7	その他	4	0.5%
	無回答	10	1.1%

8. 県の広報について

県では、広く県民の皆さまに、県の政策やさまざまな事業にご理解やご協力をいただくため、テレビやラジオ、新聞、広報紙などを活用した広報活動に取り組んでいます。これからも、県民の皆さまにとって、さらに「わかりやすい」情報をお伝えできるよう、それぞれの広報媒体の特徴を活かしながら、効果的な広報に努めていきます。

(※)県提供のテレビ・ラジオ放送

[テレビ]	おはようこうち	高知放送	日曜	7:00～ 7:14
	県民ニュース	テレビ高知	月、水曜	18:55～18:58
	知っとく高知県	高知さんさんテレビ	火、木曜	18:45～18:47
	高知県広報特別番組	県の重要施策を30分から1時間の特別番組として 放送 年7回放送（再放送あり）		
[ラジオ]	高知県からのお知らせ	エフエム高知	月～木曜	16:45～16:50
		高知放送	月～金曜	9:50～ 9:55
			土曜	11:25～11:29

問 50 県が行っている次の広報活動で、ご覧になったり、お聴きになったりしたことがあるものはどれですか。（当てはまるものすべてに○印）

(回答者数 1,734 人)

	項目	回答数	回答比率
1	県広報紙「さんSUN高知」	1,215	70.1%
2	新聞広告「高知県からのお知らせ」など(高知新聞の広告欄に掲載)	672	38.8%
3	テレビ番組「おはようこうち」	831	47.9%
4	テレビ番組「県民ニュース」	819	47.2%
5	テレビ番組「知っとく高知県」	377	21.7%
6	テレビ番組「高知県広報特別番組」	185	10.7%
7	ラジオ番組「高知県からのお知らせ」	170	9.8%
8	県のホームページ	252	14.5%
9	県のYouTubeや動画サイト「こうちインターネット放送局」	23	1.3%
10	県のツイッター※1、フェイスブック※2など	45	2.6%
11	見たり、聴いたりしていない	94	5.4%
	無回答	92	5.3%

※1 ツイッター:インターネット上で、140文字以内の「ツイート」と称される短文を投稿できる情報サービス

※2 フェイスブック:実名で現実の知り合いとインターネット上で交流ができる情報サービス

副問 1 (問 50 で「11」を選んだ方のみお答えください。)

今後どのような広報ツールを活用すれば県の広報を見たり聴いたりしていただけるようになるとお思いますか。(2つまで○印)

(回答者数 94 人)

	項目	回答数	回答比率
1	雑誌やタウン誌などの活用	14	14.9%
2	WEB広告の活用	14	14.9%
3	テレビCMの活用	48	51.1%
4	県のツイッターやフェイスブックなどSNSのさらなる活用	16	17.0%
5	県のYouTubeなど動画による情報発信の推進	16	17.0%
6	県のイメージキャラクター「くろしおくん」を広報マスコットとして活用	10	10.6%
7	その他	8	8.5%
	無回答	8	8.5%

問51 高知県では、県政情報や県の重要施策、取り組みを県民の皆さまに、より親しみやすく伝えるため、県のイメージキャラクター「くろしおくん」を活用しているところです。最近（平成30年度以降）、くろしおくんをどういったところで見かけますか。（当てはまるものすべてに○印）

（回答者数 1,734人）

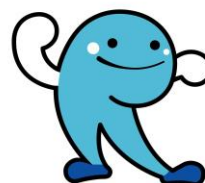
	項目	回答数	回答比率
1	県のホームページ	377	21.7%
2	「おはようこうち」などのテレビ番組	612	35.3%
3	県広報紙「さんSUN高知」	819	47.2%
4	新聞広告	411	23.7%
5	ポスター、チラシなどの広報物	666	38.4%
6	各地でのイベント	266	15.3%
7	ツイッターやインスタグラムなどのSNS	39	2.2%
8	動画サイト(YouTube)	17	1.0%
9	ぬいぐるみやけん玉などのくろしおくんグッズ	199	11.5%
10	その他	27	1.6%
11	くろしおくんは知っているが最近は見かけない	286	16.5%
12	くろしおくンを知らない	104	6.0%
	無回答	117	6.7%

副問1（問51で「1～11」を選んだ方のみお答えください。）

県の広報をより魅力あるものとするため、今後くろしおくンをどのように活用すればよいと思いますか。（2つまで○印）

（回答者数 1,515人）

	項目	回答数	回答比率
1	くろしおくん公式ツイッター、インスタグラムによる情報発信	238	15.7%
2	くろしおくん動画サイトによる情報発信	159	10.5%
3	県のテレビ広報番組への積極的な出演	597	39.4%
4	県広報紙、新聞広告などヘイラストを挿入	284	18.7%
5	県のプロジェクトにイメージキャラクターとして積極的に採用	418	27.6%
6	ポスターやチラシなどの広報物への積極的な採用	315	20.8%
7	街頭啓発や県イベントなどへの積極的な参加	273	18.0%
8	その他	57	3.8%
	無回答	155	10.2%



高知県イメージキャラクター
くろしおくん